

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月11日

協議会名:津市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
津市	久居地域稲葉ルート 榊原出張所～三重中央医療センター～久居総合支所 第1号系統	地域のスーパーに高齢者外出支援事業のポスターを掲示するとともに、高齢者外出支援事業及びモビリティマネジメントのチラシを設置した。 また、平成29年4月から榊原線の一部を津市廃止代替バスとして運行しているが、定常的な利用者が少ないため、コミュニティバスへの代替対応について榊原地区の住民と協議した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B ●利用者数(前年度比) 【平成29年度】 久居地域全体 91.9% ・稲葉ルート 98.8% ・稲葉ふれあい会館ルート 88.5% ・榊原ルート 95.4% ・桃園ルート 83.1% ・野村ルート 87.9%	『津市高齢者外出支援事業』の開始に伴い、地域全体としては利用者数の減少傾向に歯止めがかかったものの、榊原ルートにおいては減少傾向が続いていることから、地域懇談会等の活用により地域ニーズの把握に努め、利用者ニーズに合った運行となるよう、旧市町村域にとらわれずに路線等の見直しを図っていく。 また、榊原線の一部については、観光振興(榊原温泉)の観点から当面の間は廃止代替バスとしての運行を継続することとなったが、今後も榊原ルートと共に路線のあり方について検討していく。
津市	久居地域稲葉ふれあい会館ルート 稲葉ふれあい会館～三重中央医療センター～久居総合支所 第2号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。	【平成30年度】 久居地域全体 112.9% ・稲葉ルート 114.9% ・稲葉ふれあい会館ルート 148.1% ・榊原ルート 85.3% ・桃園ルート 114.5% ・野村ルート 122.6%	
津市	久居地域榊原ルート 八知山～三重中央医療センター～久居総合支所 第3号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。		

津市	久居地域榊原ルート 久居総合支所～三重中央医療センター～安子公会所 第4号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。		<p>●目標の達成状況 【平成29年度】 現状維持という目標を達成することができなかった。 【平成30年度】 前年度比100%という目標を達成することができた。</p> <p>●考察 定常的な利用者の減少に対して新規利用者の増加が追いついてこなかったが、平成29年9月に開始した『津市高齢者外出支援事業』により、新規利用者、既存利用者の利用回数共に増加した。</p>	
津市	久居地域桃園ルート 木造7区集会所～三重中央医療センター～久居総合支所 第5号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。			
津市	久居地域野村ルート 久居総合支所～三重中央医療センター～久居総合支所 第6号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。			
津市	河芸地域河芸循環北ルート 河芸総合支所～近鉄千里駅・千里ヶ丘団地東～河芸総合支所 第7号系統	<p>地域のスーパーに高齢者外出支援事業のポスターを掲示するとともに、高齢者外出支援事業及びモビリティマネジメントのチラシを設置した。</p> <p>また、商業施設の名称変更に合わせて、平成29年9月に「プライスカット南」停留所の名称を「スーパーセンターオークワ南」に変更。平成30年8月20日をもって同商業施設が閉店したことから、翌日付けで停留所を廃止した。</p>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B	<p>●利用者数(前年度比) 【平成29年度】 河芸地域全体 87.2% ・河芸循環北ルート 91.6% ・河芸循環南ルート 82.5% 【平成30年度】 河芸地域全体 144.6% ・河芸循環北ルート 140.8% ・河芸循環南ルート 149.0%</p> <p>●目標の達成状況 【平成29年度】</p>	『津市高齢者外出支援事業』の開始に伴い、両路線共に利用者数は増加傾向にあることから、さらなる利用者の増加を目指し、河芸地域公共交通あり方検討会や地域懇談会の活用により地域ニーズの把握に努め、利用者ニーズに合った運行となるよう、旧市町村域にとらわれずに路線等の見直しを図っていく。 また、地域内での大規模な団地開発(杜の街)に合わせて、民間バス路線『太陽の街線』の運行経路等が一部変更されたことから、路線の一部が重複する

津市	河芸地域河芸循環南ルート 河芸総合支所～近鉄豊津上野 駅・近鉄千里駅～河芸総合支 所 第8号系統		A 計画どおり事業は適切に実 施された。	現状維持という目標を達 成することができなかった。 【平成30年度】 前年度比97%という目標 を達成することができた。 ●考察 定常的な利用者の減少に 対して新規利用者の増加が 追いついてこなかったが、 平成29年9月に開始した『津 市高齢者外出支援事業』に より、新規利用者、既存利 用者の利用回数共に増加し た。	河芸循環北ルートについても、 路線のあり方を検討していく。
津市	芸濃地域芸濃循環明ルート 芸濃総合支所～中町・イオンタ ウン芸濃～芸濃総合支所 第9号系統	地域のスーパー及び医療機 関に高齢者外出支援事業のポ スターを掲示するとともに、スー パーには高齢者外出支援事業 及びモビリティマネジメントのチ ラシを設置した。	A 計画どおり事業は適切に実 施された。	B ●利用者数(前年度比) 【平成29年度】 芸濃地域全体 86.0% ・芸濃循環明ルート 71.0% ・芸濃循環安西ルート 75.1% ・芸濃循環雲林院ルート 108.9% ・芸濃循環河内ルート 96.9% 【平成30年度】 芸濃地域全体 162.7% ・芸濃循環明ルート 161.2% ・芸濃循環安西ルート 152.2% ・芸濃循環雲林院ルート 226.9% ・芸濃循環河内ルート 140.0%	『津市高齢者外出支援事業』 の開始に伴い、全路線におい て利用者数は増加傾向にある ことから、さらなる利用者の増 加を目指し、芸濃地域公共交 通あり方検討会や地域懇談会 の活用により地域ニーズの把 握に努め、利用者ニーズに合っ た運行となるよう、旧市町村域 にとらわれずに路線等の見直 しを図っていく。 また、地域内において新たな 商業施設の出店が相次いでい ることから、当該施設への乗り 入れニーズの把握に努める。
津市	芸濃地域芸濃循環安西ルート 芸濃総合支所～イオンタウン 芸濃・中町～芸濃総合支所 第11号系統		A 計画どおり事業は適切に実 施された。		
津市	芸濃地域芸濃循環雲林院ルー ト 芸濃総合支所～市場・中町～ 芸濃総合支所 第12号系統		A 計画どおり事業は適切に実 施された。	●目標の達成状況 【平成29年度】 前年度比105%という目標 を達成することができなかった。 【平成30年度】 前年度比102%という目標 を達成することができた。	

津市	芸濃地域芸濃循環河内ルート 芸濃総合支所～市場・中町～ 芸濃総合支所 第13号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。	●考察 定常的な利用者の減少に対して新規利用者の増加が追いついてこなかったが、平成29年9月に開始した『津市高齢者外出支援事業』により、新規利用者、既存利用者の利用回数共に増加した。	
津市	安濃地域明合ルート サンヒルズ安濃～曾根橋バス 停前～サンヒルズ安濃 第14号系統	地域のスーパーに高齢者外出支援事業のポスターを掲示するとともに、高齢者外出支援事業及びモビリティマネジメントのチラシを設置した。 また、地域からのニーズに応え、平成28年10月に「F前野橋」停留所を新設した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B ●利用者数(前年度比) 【平成29年度】 安濃地域全体 98.1% ・明合ルート 112.4% ・草生ルート 98.8% 【平成30年度】 安濃地域全体 119.5% ・明合ルート 131.3% ・草生ルート 110.5% ●目標の達成状況 【平成29年度】 現状維持という目標を達成することができなかった。 【平成30年度】 前年度比101%という目標を達成することができた。	『津市高齢者外出支援事業』の開始に伴い、両路線共に利用者数は増加傾向にあることから、さらなる利用者の増加を目指し、安濃地域公共交通あり方検討会や地域懇談会の活用により地域ニーズの把握に努め、利用者ニーズに合った運行となるよう、旧市町村域にとらわれずに路線等の見直しを図っていく。 また、隣接する芸濃地域において商業施設の出店が相次いでいることから、当該地域への移動ニーズの把握に努める。
津市	安濃地域草生ルート サンヒルズ安濃～曾根橋バス 停前～サンヒルズ安濃 第17号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。	●考察 定常的な利用者の減少に対して新規利用者の増加が追いついてこなかったが、平成29年9月に開始した『津市高齢者外出支援事業』により、新規利用者、既存利用者の利用回数共に増加した。 また、安濃ルートは一運行あたり輸送量が1.0(平成30年度は2.0)を下回り平成29年度からは補助対象外となった。	

三重交通株式会社	名張奥津線 飯垣内～敷津～奥津駅前 第1号系統	利用者数の少ない路線であるため、路線の廃止及び自家用有償旅客運送の導入について、美杉地域公共交通あり方検討会において協議を重ねている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B ●利用者数(前年比) 【平成29年度】 100.0% 【平成30年度】 98.6% ●目標の達成状況 【平成29年度】 現状維持との目標を達成することができた。 【平成30年度】 前年度比100%という目標を達成することができなかった。 なお、一運行あたり輸送量が2.0を下回り、平成30年度は補助対象外となった。	一人あたりの輸送コストが高額となっていることから、引き続き美杉地域公共交通あり方検討会においてコミュニティバス化を含めた路線のあり方について協議していく。 (平成30年度以後は補助対象外)
三重交通株式会社	美杉地域コミュニティバス 川上～美杉総合支所前、竹原～一志病院 第3号系統	地域のスーパーに高齢者外出支援事業のポスターを掲示するとともに、高齢者外出支援事業及びモビリティマネジメントのチラシを設置した。 地域からはデマンド交通の導入を希望する声が上がっているため、美杉地域公共交通あり方検討会にて、津市コミュニティバスのあり方について協議している。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A ●利用者数(前年度比) 【平成29年度】 美杉地域全体 104.7% ・川上ルート 102.4% ・丹生俣ルート 110.1% 【平成30年度】 美杉地域全体 106.2% ・川上ルート 102.7% ・丹生俣ルート 102.8% ●目標の達成状況 【平成29年度】 現状維持という目標を達成することができた。 【平成30年度】 前年度比95%という目標を達成することができた。 ●考察 補助対象外の路線であるが、逢坂・飼坂ルートについては、平成29年4月に路線を延長し、同年10月には市外2箇所停留所を新設したこともあり、利用者数は増加傾向にある。	『津市高齢者外出支援事業』の開始に伴い、両路線ともに利用者数は増加傾向にあることから、さらなる利用者の増加を目指し、美杉地域公共交通あり方検討会や地域懇談会の活用により地域ニーズの把握に努め、利用者ニーズに合った運行となるよう路線等の見直しを図っていく。 美杉地域公共交通あり方検討会での協議を進め、デマンド交通の導入を含めた津市コミュニティバスのあり方を検討していく。 また、豊かな自然や歴史ある神社等を有する地域であり、観光需要もあることから、補助対象外である『逢坂・飼坂ルート』を含め、観光への対応についても検討していく。
三重交通株式会社	美杉地域コミュニティバス 川上～エコープJAみすぎ店前、美杉総合支所前、竹原～一志病院 第4号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。		
三重交通株式会社	美杉地域コミュニティバス 川上～エコープJAみすぎ店前、美杉総合支所前～マックスバリュ(川口店) 第5号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。		
三重交通株式会社	美杉地域コミュニティバス 川上～美杉総合支所前、一志病院～マックスバリュ(川口店) 第6号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。		

三重交通株式会社	美杉地域コミュニティバス 丹生俣～竹原～一志病院 第7号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。		
三重交通株式会社	美杉地域コミュニティバス 丹生俣～竹原、一志病院～ マックスバリュ(川口店) 第8号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。		
三重交通株式会社	美里地域コミュニティバス 平木～美里総合支所～湯の瀬 第9号系統	平成29年4月に小学校が統合し、新たにスクールバスが導入されたことから、利用者が減少している。 また、地域内にスーパーがなく、地域外への買い物需要があることから、美里地域公共交通あり方検討会にて津市コミュニティバスのあり方について協議している。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C ●利用者数(前年度比) 【平成29年度】 美里地域全体 71.2% ・長野・高宮ルート 83.6% ・辰水ルート 63.1% 【平成30年度】 美里地域全体 84.3% ・長野・高宮ルート 101.1% ・辰水ルート 69.6% ●目標の達成状況 【平成29年度】 現状維持という目標を達成することができなかった。 【平成30年度】 前年度比93%という目標を達成することができなかった。 ●考察 スクールバス導入による利用者数の減少が予想を大きく上回った。	地域外への買い物需要に因應るべく、美里地域公共交通あり方検討会や地域懇談会の活用により地域ニーズの把握に努め、利用者ニーズに合った運行となるよう、旧市町村域にとられずに路線等の見直しを図っていく。 スクールバスの導入により小中学生の通学需要がなくなったことから、特に辰水ルートにおいて利用者の減少が著しいため、ルートや運行便数の見直しについて検討していく。
三重交通株式会社	美里地域コミュニティバス 平木～美里総合所、美里総合支所前～湯の瀬 第10号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。		
三重交通株式会社	美里地域コミュニティバス 美里総合支所～辰水農協前、 稲葉口、美里総合支所～湯の瀬 第11号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。		
三重交通株式会社	美里地域コミュニティバス 美里総合支所～辰水農協前、 稲葉口、美里総合支所前～湯の瀬 第12号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。		
三重交通株式会社	美里地域コミュニティバス 美里総合支所～辰水農協前、 稲葉口、美里総合支所前～湯の瀬 第12号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。		

株式会社一志運輸	一志地域川合ルート 姫路集会所～川合高岡駅～とことめの里一志 第1号系統	地域のスーパーに高齢者外出支援事業のポスターを掲示するとともに、高齢者外出支援事業及びモビリティマネジメントのチラシを設置した。 平成28年10月と平成30年4月に、川合高岡駅での接続に合わせ、ダイヤを改正した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B ●利用者数(前年度比) 【平成29年度】 一志地域全体 92.0% ・川合ルート 99.4% ・高岡ルート 84.7% 【平成30年度】 一志地域全体 121.8% ・川合ルート 114.5% ・高岡ルート 130.3% ●目標の達成状況 【平成29年度】 前年度比105%という目標を達成することができなかった。 【平成30年度】 前年度比102%という目標を達成することができた。 ●考察 定常的な利用者の減少に対して新規利用者の増加が追いついてこなかったが、平成29年9月に開始した『津市高齢者外出支援事業』により、新規利用者、既存利用者の利用回数共に増加した。	津市高齢者外出支援事業の開始により、両路線共に利用者数は増加傾向にあることから、さらなる利用者の増加を目指し、一志地域公共交通あり方検討会や地域懇談会の活用により地域ニーズの把握に努め、利用者ニーズに合った運行となるよう、旧市町村域にとらわれずに路線等の見直しを図っていく。 なお、かねてより隣接する松阪市内にある伊勢中川駅への運行を希望する声も上がっていることから、移動ニーズの把握に努める。
株式会社一志運輸	一志地域高岡ルート とことめの里一志～石橋駅・川合高岡駅～とことめの里一志 第2号系統		A 計画どおり事業は適切に実施された。		